

2025 年 8 月 19 日
住友生命保険相互会社

独立行政法人国際協力機構（JICA）が発行する 「アフリカ・TICAD ボンド（サステナビリティボンド）」への投資

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 高田 幸徳、以下「住友生命」）は、独立行政法人国際協力機構（理事長 田中 明彦、以下「JICA」）が発行する「アフリカ・TICAD ボンド（サステナビリティボンド）」への投資を実行しました。

JICA は日本の政府開発援助（ODA）を一元的に実施する機関として、開発途上国の社会経済発展のため、有償・無償資金協力、技術協力をはじめとする各種事業を実施しています。

また、日本政府が主導するアフリカの自立的・持続的な開発を国際的に議論する「アフリカ開発会議（TICAD）」の枠組みの中で、アフリカ開発事業等を推進しています。

TICAD では民間投資の促進が重要なテーマの一つに掲げられており、今回の「アフリカ・TICAD ボンド」によって調達された資金は、アフリカの自立的・持続的成長の後押しと民間投資の推進のため、アフリカ向け有償資金協力事業に充当されることから、アフリカ・TICAD ボンドへの投資を決定しました。



【本債券の概要】

発行体	独立行政法人国際協力機構（JICA）
発行額	3 年債／150 億円 5 年債／80 億円
期間／利率	3 年／0.923% 5 年／1.178%

住友生命は、「なくてはならない」生命保険会社の実現を目指し、事業活動を通じた SDGs の達成に向けて取組みを進めています。今後も責任投資を通じ、持続可能な社会の実現に貢献していくとともに、運用収益力の向上に取り組んでいきます。

【本件を通じて貢献すると想定される主な SDGs 項目】



以上